

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：2019年7月13日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	研究会	行事番号	190007670	
開催日	2019年7月13日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	アルフレッサ株式会社 名古屋西支店（所在地 名古屋市）			
テーマ	遺伝子検査室管理における疑問解消！！			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	伊藤 英史(刈谷豊田総合病院)			
講師	身野 健二郎・吉本 倫子(シスメックス株式会社) 龍崎 大輔（サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社）			
内容	<p>昨年度医療法改正に伴い検体検査室における管理体制強化が義務化された。今回は、遺伝子検査に特化した内容で勉強会を開催した。</p> <p>シスメックスの方からは、ISO15189の視点から検査室管理について講演をいただいた。前半はISO15189の内容、後半はがん遺伝子診療における動向に関する内容であり、がん遺伝子検査における精度保証に関して、より詳細な話をしていただいた。サーモフィッシャーダイアグノスティックスの方からは、医療法改正の内容についての講演をいただき、後半では世界における精度管理の状況を含めて検査室の管理体制をお話いただいた。講演後、参加施設の精度管理状況について聞く時間を設け、参加者全員で情報共有をした。</p>			
参加者	総数：34名（会員30名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他4名）			
共催、後援など	なし			

2019.7.18

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：2019年9月14日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	研究会	行事番号	190013442	
開催日	2019年9月14日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	(株)スズケン 名古屋支店 (所在地 名古屋市)			
テーマ	感染症関連遺伝子検査			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	渡邊かなえ(名古屋大学医学部附属病院)			
講師	佐藤知穂美(株式会社 理研ジェネシス) 加藤 雄大(JA 愛知厚生連 豊田厚生病院) 山田 敦子(愛知医科大学病院)			
内容	<p>今回は、感染症関連の遺伝子検査をテーマに勉強会を開催した。</p> <p>1 演題目は、(株)理研ジェネシスより海外でも使用実績のある『Fast Track Diagnostics 感染症遺伝子検査キット』について海外での精度管理事業等を含めて講演して頂いた。2 演題目は、市中病院の一例として豊田厚生病院の感染症関連遺伝子検査の導入状況について、LAMP法と GeneXpert を中心に疫学を含め講演して頂いた。3 演題目は、愛知医科大学病院 感染制御部の遺伝子検査の実施状況と比較的新しい検査機器である Verigene と FilmArray について講演して頂いた。</p>			
参加者	総数：30名(会員30名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他2名)			
共催、後援など	なし			

2019.9.14

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：2019年10月5日 報告者：渡邊 かなえ

行事種別	研究会	行事番号	190017019	
開催日	2019年10月5日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	名古屋第二赤十字病院（所在地 名古屋市）			
テーマ	現在の遺伝子・染色体検査の学校教育			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	伊藤 英史（医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院）			
講師	大星 航（国際医療福祉大学 成田保健医療学部） 河村 理恵（藤田医科大学 総合医科学研究所）			
内容	<p>今回は、現在の遺伝子・染色体検査の学校教育をテーマに講演会を開催した。</p> <p>1 演題目は、大星先生は出身大学および現在勤務先における学校教育について話された。変わりゆく学校教育と教育の課題について講演された。</p> <p>2 演題目は、信州大学医学部及び現在勤務先における学校教育について話された。信州大学の医学部生の間ではつらいという名物実習であったようだ。かなり先生方のサポートがあり、充実した実習であることがうかがえた。</p>			
参加者	総数：31名（会員名30、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他1名）			
共催、後援など	なし			

2019.10.04

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：遺伝子染色体検査研究班 提出日：2019年12月26日 報告者：杉浦 記弘、森 三希子

行事種別	研究会	行事番号	190023252	
開催日	2019年12月21日(土)			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	リップルスクエア (所在地 名古屋市東区)			
テーマ	ゲノム診療用病理組織検体の取扱いと精度管理			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	JA愛知厚生連 安城更生病院	杉浦 記弘		
	JA愛知厚生連 渥美病院	森 三希子		
講師	アストラゼネカ株式会社	畑中 聖哉		
	愛知県がんセンター	吉野 聡		
	名古屋第二赤十字病院	岩田 英紘		
内容	<p>講演1 「EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC の治療と検査」畑中 肺癌治療の歴史と肺癌分子標的治療薬および EGFR 遺伝子変異の検査法について、最新の情報を交えて話された。</p> <p>講演2 「ゲノム検査に向けた組織固定」吉野 ゲノム検査に適した検体処理について、固定方法に着目して解説していただいた。推奨固定時間である 48 時間を遵守するための様々な工夫や実際の運用方法、また週末や長期休暇の対応などを具体的に提示していただいた。</p> <p>講演3 「ゲノム医療を見据えた病理組織検体の取扱い ～ DNA の質と影響～」岩田 臨床現場で悩まれている病理組織検体のホルマリン固定の影響について、DNA の品質の測定方法や、実際ホルマリン固定によって DNA の品質がどのようになっているか、ΔCt 値を用いてお話頂いた。今後様々な臨床現場でも生かされる講演であった。</p> <p>今回は遺伝子染色体検査研究班、病理細胞検査研究班と合同で研究会を開催した。「がんゲノム医療」が急速に進み始めていることもあり、89名という非常に多くの会員に参加頂いた。各講義に対し活発な質疑があり、有意義な研究会であった。</p>			
参加者	総数：89名(会員89名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名)			
共催、後援など				